2026 年 11 月 9 日
一般社団法人クロスユー
三井不動産株式会社

欧州・オーストラリアから約 50 の企業・団体が来日、日本企業との事業連携を促進

国内外から過去最多の約 200 の企業・団体が参画、50 以上の宇宙関連イベントを日本橋で開催

「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026」開催

＜開催期間：12 月 1 日(火)～12 月 4 日(金)＞

本イベントの概要

- 6 回目の開催となるアジア最大級の宇宙ビジネスイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026」を、2026 年 12 月 1 日(火)から 12 月 4 日(金)まで日本橋エリアで開催
- 国内外から過去最多となる約 200 の企業・団体が参画し、50 以上の宇宙関連イベントを開催。EU/ESA から約 30 社、オーストラリアからは 18 社の企業・団体が参画し、日本企業との B2B マッチングを実施するなど、国際連携を具体的な商談・事業創出につなげる機会を創出
- 宇宙産業が技術開発・実証フェーズから事業化・社会実装へと進む中、非宇宙企業の参画拡大に加え、各地域で進む宇宙産業振興や宇宙技術を活用した社会課題解決の取り組みなどを出展・ステージで紹介。多様なプレイヤーによる新たな共創を促進し、日本橋から世界の宇宙産業の活性化を目指す

一般社団法人クロスユー(東京都中央区、理事長 中須賀真一 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授／以下、「クロスユー」)と三井不動産株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：植田俊／以下、「三井不動産」)は、2026 年 12 月 1 日(火)から 12 月 4 日(金)まで、国内外の宇宙プレイヤーが一堂に集結するアジア最大級の宇宙ビジネスイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026(以下、「本イベント」)」を日本橋エリアにて開催いたします。



6 回目の開催となる今年は、国内外から参画する企業・団体が昨年の 100 から倍となる約 200 へと増加し、過去最多となります。期間中に開催する宇宙関連イベントも、昨年の 30 から 50 以上に増え、アジア最大級の宇宙ビジネスイベントとしてさらに規模を拡大します。昨年に引き続き、海外の政府・公的機関や企業が参画する中、今年は欧州委員会主導の宇宙スタートアップ支援プログラム「CASSINI」や欧州宇宙機関(ESA)を通じて欧州から約 30 社、オーストラリア大使館商務部とオーストラリア宇宙産業協会を通じて、オーストラリアから 18 社の企業・団体が来日予定です。日本市場への展開・協業を見据えた B2B マッチングを実施し、国際連携から具体的な商談や事業創出につなげる機会を創出します。

また、宇宙関連企業・スタートアップに加え、通信、旅行、製造など異業種企業の参画も拡大。衛星データを活用した防災・減災、宇宙空間における輸送サービス、宇宙機器開発を支える部品調達など、宇宙技術の事業化や社会課題解決に向けた最新の取り組みを紹介します。

政府が 2026 年に策定した「日本成長戦略」では、「航空・宇宙」が官民で重点的に投資を進める 17 の戦略分野の一つに位置づけられました。「宇宙戦略基金」による技術開発・実証から商業化に向けた支援や、人工衛星・ロケット部品のサプライチェーン強靭化などを背景に、宇宙産業では事業化・社会実装や海外市場獲得に向けた動きが本格化しています。

本イベントを通じ、産官学金のキープレイヤーによる交流・商談や具体的な事業連携の機会を創出し、新たな共創を促進することで、日本橋から世界の宇宙産業を活性化することを目指します。

開催コンテンツ詳細

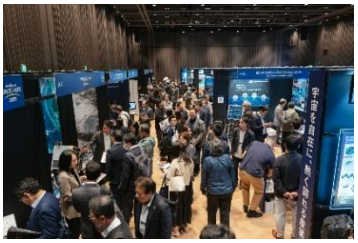
開催期間中は、130 を超える宇宙ビジネス団体が出展する展示会「EXHIBITION」をはじめ、多彩なビジネスカンファレンス等を開催し、宇宙ビジネスの最前線が日本橋に集結します。4 日間で 50 以上の宇宙関連イベントを開催し、日本橋エリア各所にて宇宙ビジネスのキープレイヤー達による交流会等も実施予定です。



※プログラム内容及び出展社情報等は現時点での予定であり、今後変更となる可能性がございます。

EXHIBITION

国内外の宇宙関連団体・企業が一堂に会し、宇宙ビジネスの最前線が集結する展示会。海外宇宙機関やスタートアップ企業、自治体、アカデミア、新たに宇宙ビジネスに参画した企業など 130 を超える宇宙ビジネス団体が出展。



日　　時：2026 年 12 月 1 日（火）～3 日（木）
1 日：13:00～17:30　2 日：9:30～17:30　3 日：9:30～17:00
※12 月 1 日は午前中にメディア向け内覧会開催

会　　場：日本橋三井ホール
（日本橋室町 2-2-1 COREDO 室町 1　5 階）

参 加 費：無料（要事前登録）

申し込み：https://crossu.smktg.jp/public/seminar/view/1882

出展社一覧：https://www.crossu.org/spaceweek/exhibition/

注目の出展社を一部ご紹介

① 欧州・オーストラリアから多数の企業・団体が来日！日本企業との事業連携を本格化

欧州委員会主導の宇宙スタートアップ支援プログラム「CASSINI」や欧州宇宙機関（ESA）を通じて欧州から約 30 社、オーストラリア大使館商務部とオーストラリア宇宙産業協会を通じてオーストラリアから 18 社の企業・団体が来日予定です。日本市場への展開や日本企業との協業を見据えた企業が、先端技術やサービスを紹介します。会期中には日本企業との B2B マッチングも実施し、情報交換にとどまらない具体的な商談や事業創出につなげます。

【主な海外出展企業・団体】

EU（欧州連合）の CASSINI 欧州宇宙機関（ESA）	**約 30 社の欧州宇宙企業が集結し、日欧の事業連携を促進** EU（欧州連合）と欧州宇宙機関（ESA）が共同で出展します。欧州委員会主導の宇宙スタートアップ支援プログラム「CASSINI」より欧州の宇宙スタートアップ約 30 社が集結し、革新的な技術や欧州発のビジネス機会を発信します。メインカンファレンスへの参加に加え、GLOBAL STAGE でのイベントや B2B マッチングを展開し、日本と欧州の宇宙産業間のネットワーク構築を促進するとともに、新たなパートナーシップや国際協業の実現を後押しします。

	「CASSINI」は、2021 年から 2027 年にかけて、ニュースペースを含む宇宙産業分野の起業家、スタートアップ、および中小企業を支援するための欧州委員会のイニシアチブです。このイニシアチブは、EU 宇宙プログラムのあらゆる分野を対象としており、上流分野（ナノ衛星、打ち上げロケットなど）と下流分野（宇宙データを活用した製品・サービスなど）の両方を網羅しています。「CASSINI」には、10 億ユーロ規模の EU シード・成長ファンド、ハッカソンやメンタリング、賞の授与、ビジネスアクセラレーター、パートナーシップ構築やマッチング支援などが含まれています。
オーストラリア大使館商務部	**18 社のオーストラリア宇宙企業が集結し、日豪の事業連携を促進** オーストラリア大使館商務部とオーストラリア宇宙産業協会が共同で出展し、18 社のオーストラリア宇宙企業が有する先進技術やビジネス機会を紹介します。展示に加え、 GLOBAL STAGE でのイベントや B2B マッチング、企業・技術紹介、ピッチを実施し、日本企業との協業や共同事業の創出を目指します。

② 非宇宙産業の出展が過去最多に！宇宙ビジネスへの参入が拡大

今年は、通信、旅行、製造など、非宇宙産業からの出展が過去最多となる見込みです。宇宙ビジネスへの参入が幅広い産業へと拡大する中、各社は本業で培った技術や事業基盤、ノウハウを生かし、衛星データによる自然災害発生時の迅速な状況把握や、宇宙旅行、宇宙機器開発を支える部品調達など、新たな事業・サービスの創出に取り組んでいます。本イベントでは、こうした異業種企業による宇宙ビジネスの最新の取り組みを紹介します。

FUJITSU　JTB 感動のそばに、いつも。　MiSUMi

【主な企業の動向】

富士通株式会社	**衛星データの活用で、災害対応の迅速化と安全な宇宙利用へ** 防災科学技術研究所などと連携し、災害の発生検知から人工衛星への観測指示、被災状況の解析までを迅速化する「日本版災害チャータ」の実用化を推進。2026 年には BULL と、人工衛星の軌道上データを活用した高精度な宇宙状況把握サービスの開発に向けた検討を開始するなど、宇宙技術による社会課題の解決に取り組んでいます。
株式会社 JTB	**旅行・交流事業の強みを生かし、宇宙を身近な体験へ** 「宇宙×まちづくり」「宇宙×教育」「宇宙×ビジネス創出」を推進。 2026 年 9 月には、宇宙体感施設「Space Travelium TeNQ」と連携した中高生向け探究・キャリア学習プログラムの提供を開始しました。今回、共同出展する岩谷技研との共創による気球での「宇宙遊覧フライト」への挑戦や、国内外の宇宙港・宇宙産業集積地の視察商品化など、宇宙をテーマとした新たな交流を創出します。
株式会社ミスミ	**部品調達の DX で、宇宙開発のスピード向上を支援** 3D データをアップロードするだけで、機械部品の即時見積もりと最短 1 日での出荷を可能にする AI プラットフォーム「meviy」を展開。航空宇宙分野に対応した材質・表面処理も拡充し、部品調達のリードタイム短縮によって、宇宙機器の試作・開発を支援します。

③ 宇宙関連企業・スタートアップが示す、事業化・社会実装の現在地

衛星データを活用した災害状況の把握や宇宙空間における輸送、スペースデブリへの対応など、宇宙ビジネスの事業化を牽引する企業・スタートアップが出展します。各社は技術実証やサービス開発を進め、実際の事業化に向けた取り組みを加速させています。宇宙技術による社会課題の解決や、新たな市場創出に向けた取り組みを紹介します。

MARBLE VISIONS　Pale Blue　Astroscale

【主な企業の動向】

株式会社 Marble Visions	**高精細な 3D 地球観測で、都市開発・インフラ管理・防災の高度化へ** 世界中の空間をデジタル化し、利用者の意思決定を支援する衛星データ活用サービスの構築を進めています。JAXA 宇宙戦略基金の支援を受け、40cm 級高解像度撮影・3D 地球観測システムを開発中です。2027 年に初号機運用開始、2028 年に商用サービス開始を予定し、都市インフラ管理や災害対応への活用を目指します。
株式会社 Pale Blue	**超小型軌道間輸送機で、宇宙空間の新たな輸送系を構築** 小型衛星向け推進機の開発・製造を手掛け、2026 年には JAXA の宇宙戦略基金への採択を機に「軌道間輸送機」事業へ参入予定。衛星やペイロードを目的の軌道へ柔軟に運ぶ超小型軌道間輸送機を開発し、地球と月の間や、その先の宇宙空間を結ぶ輸送サービスの事業化を目指します。

株式会社アストロスケール	**宇宙の安全を守る「軌道上サービス」の実現へ** スペースデブリの除去や観測、衛星への燃料補給などを通じ、持続可能な宇宙環境の実現に取り組んでいます。2027 年には、運用を終了した人工衛星「だいち」と「みどりⅡ」に接近して状態を観測する「ISSA-J1」の打ち上げを予定しており、実際のサービス提供を見据えた技術実証を進めています。

CONFERENCE STAGE

産官学金の宇宙関連団体によるビジネスカンファレンスを 15 セッション実施。業界問わず様々な領域のトッププレイヤーたちが最新の宇宙動向や展望について議論します。



日　　時：2026 年 12 月 1 日（火）～12 月 3 日（木）
会　　場：室町三井ホール＆カンファレンス（COREDO 室町テラス 3 階）
参 加 費：無料（要事前登録）
申し込み　：https://crossu.smktg.jp/public/seminar/view/1882

【注目セッションの一部をご紹介】

その他のセッションや各ステージの詳細・最新情報は、公式ウェブサイトをご覧ください。

■社会課題解決

【環境】

地球観測データを、心が動く体験へ

日時：12 月 1 日（火）15:00～16:00

主催：株式会社バスキュール、日本テレビ放送網株式会社

遠い宇宙の話が、今日の地球を感じる体験に変わる。宇宙から届く姿が暮らしや学びに溶け込めば、防災・環境への意識も、子どもたちの探究心も変わりはじめます。本セッションでは、地球観測データを直感的な体験に変え、社会実装や次世代育成へ繋げる方法を考察。日本テレビとバスキュールが多彩なゲストとともに、宇宙のデータを身近な体験として届け、産業の裾野を広げる共創の可能性を語り合います。

【防災】

災害対応における衛星データ活用の現在地
― 2026 年の豪雨災害から見えたもの

日時：12 月 3 日（木） 14:30～15:30

主催：ICEYE Japan 株式会社

2026 年は、各地で記録的な豪雨による災害が相次ぎました。本セッションでは、国内での経験に加え、海外の事例も交えながら、発災直後の浸水範囲の把握から被害状況の確認まで、衛星データ活用の現在地と、今後の防災・減災における活用の可能性についてご紹介します。

【地域】

地域を動かす、宇宙産業
― 全国のキーパーソンが語る「宇宙×地域」の可能性

日時：12 月 3 日（木）16:00～17:00

主催：一般社団法人クロスユー

宇宙産業を起点に、地域の産業や企業が動き始めています。国も「戦略産業クラスター」を指定するなど、地域産業の成長に向けた動きが加速しています。本セッションでは、国と全国各地で宇宙産業の集積に取り組むキーパーソンが登壇。地域で生まれている変化や成果、課題、そして宇宙産業を核に描くこれからの地域の姿について語り合い、「宇宙×地域」が拓く新たな産業クラスターの可能性を探ります。

■非宇宙企業の参画拡大（多様なプレイヤーによる新たな共創）

課題から始まる、宇宙共創

― Space cross Nexus 始動 ―

日時：12 月 2 日（水） 10:00～11:00

主催：一般社団法人クロスユー

東京都のクラスター創生事業「TIB CATAPULT」のもと、宇宙産業の課題と国内外のスタートアップの技術・アイデアをつなぐ「Space cross Nexus」が始動します。本セッションでは、大企業等とスタートアップの共創による新たな事業・市場創出の可能性や、PoC・実証から導入・共同開発等の事業化につなげるポイントを議論。宇宙・非宇宙、国内外の垣根を越えた新たな協働のきっかけを生み出します。

宇宙産業×量子産業、フロンティア同士のコラボレーション

― 量子・AI などの次世代計算が広げる宇宙産業の可能性 ―

日時：12 月 3 日（木） 10:00～11:00

主催：RISE-A

政府の日本成長戦略が掲げる戦略分野である「宇宙」と「量子」。本セッションでは、宇宙・量子・半導体の各エコシステムとユーザー企業が一堂に会し、量子・AI をはじめとする次世代計算を切り口に、宇宙産業と量子技術の融合が生み出す新たな可能性と、社会実装に向けた産業連携のあり方を議論します。

GLOBAL STAGE

海外宇宙関連団体や大使館などによるカンファレンスやネットワーキングイベントなど 8 セッションを開催。世界の公的機関や産業界のトップランナーたちが来日し、各国の宇宙ビジネスの最先端や日本企業との共創の枠組みについて紹介します。

日　　程：2026 年 12 月 1 日（火）～12 月 3 日（木）
会　　場：室町三井ホール＆カンファレンス（COREDO 室町テラス 3 階）
参 加 費：無料（要事前登録）
申し込み：https://crossu.smktg.jp/public/seminar/view/1882

【注目セッションの一部をご紹介】

その他のセッションや各ステージの詳細・最新情報は、公式ウェブサイトをご覧ください。

ドイツ・日本の宇宙テックをつなぐイノベーション・ブリッジ

日時：12 月 1 日（火）13:00～15:00

主催：acitoflux / cross U / Fraunhofer



cross U、ドイツのベンチャーキャピタル（VC）acitoflux、研究機関 Fraunhofer は、日独のスタートアップや企業をつなぎ、宇宙テクノロジーを起点とした新たなイノベーションの創出を目指すイベントシリーズ「Innovation Bridge – Shaping the German-Japanese SpaceTech Landscape –（ドイツと日本の宇宙テックの未来をつなぐイノベーション・ブリッジ）」の第 3 回を、グローバルステージにて開催します。今回のテーマは、「宇宙での AI 利用」です。宇宙分野における AI 活用の可能性に着目し、日独の企業・スタートアップなどが交流しながら、新たな技術連携やビジネス機会を探ります。

Gateway to Asia Pacific

日時：12 月 3 日（木） 15:00～19:00

主催：Singapore Space & Technology Think Tank

Singapore Space & Technology Think Tank（SST）が主催する「Gateway to Asia Pacific」が、グローバルステージにて開催されます。本ワークショップでは、AASTA（アジア宇宙技術アライアンス）に加盟する、アジア・オセアニア・ヨーロッパの宇宙関係者が集まり、アジアにおける宇宙ビジネスの成長機会や国際協業の可能性について議論します。プログラムでは、宇宙産業の市場形成をテーマとしたパネルディスカッション、アジアの有望スタートアップによるピッチセッション、参加者同士のネットワーキングなどを実施する予定です。

宇宙でつなぐ日本と世界

― アフリカから広がる共創と実践

日時：12 月 3 日（木） 13:00～15:00

主催：クロスユー新興国ワーキンググループ

クロスユー新興国ワーキンググループでは、宇宙を活用した新興国との協力や事業創出に取り組んでいます。本セッションでは、日本と新興国との宇宙協力の意義や政策・制度面での取組を俯瞰した上で、アフリカを舞台に、人材・制度などの基盤づくりから宇宙ビジネスや社会実装まで、持続可能な協力のあり方と今後の可能性を議論します。

PITCH STAGE

大手企業からスタートアップまで、国内外の 50 を超える注目企業・団体の最新の取り組みや今後の展開を担当者が直接ご紹介するピッチステージ。



日　　時：2026 年 12 月 2 日（水）～12 月 3 日（木）
会　　場：室町三井ホール＆カンファレンス（COREDO 室町テラス 3 階）
参 加 費：無料（要事前登録）
申 し 込 み：https://crossu.smktg.jp/public/seminar/view/1882
参加企業：各ステージの詳細や最新情報は公式ウェブサイトをご覧ください。

OTHER EVENTS

期間中は、企業・自治体・業界団体などによる多彩なパートナーイベントを日本橋エリア各所で開催します。海外企業とのビジネスマッチングや、宇宙産業の事業化を支える技術・基盤、地域・異業種との連携など、25 件以上のイベントを開催。注目のイベントを一部ご紹介します。
※掲載内容は発表時点の予定です。そのほかのイベントおよび最新情報は、公式ウェブサイトをご覧ください。

■自治体・地域～日本で加速する宇宙産業。地域発の新たな挑戦。

第 2 回 地域産業 × 宇宙 Action Forum

― ビジネスを生み出すエコシステム ―



日時：12 月 1 日（火）14:50～17:50

主催：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 新事業促進部

会場：&BIZ Conference 日本橋室町三井タワー

参加費：無料

地域における宇宙産業エコシステム形成に向け、次のアクションにつながるヒントとネットワークを提供します。

大田区から宇宙をめざせ！

― 宇宙スタートアップ、東京・大田区に集結、そして躍進へ ―

日時：12 月 2 日（水）15:00～17:00 開場 14:30（予定）

主催：大田区／（公財）大田区産業振興協会

会場：X-NIHONBASHI BASE

参加費：無料

国内有数の「ものづくりのまち」東京・大田区に宇宙スタートアップが集積する理由を解き明かします。

■グローバル～世界と日本をつなぐ、国境を越えた宇宙ビジネス

From Experiment to Enterprise:
Growing Business in Low Earth Orbit

日時：12 月 2 日（水）

主催：Arkisys Inc.

会場：X-NIHONBASHI BASE

参加費：無料

米国と日本の宇宙分野のリーダーたちが登壇し、国際宇宙ステーション（ISS）の機能、ロボット技術、輸送手段、そして新たな軌道上インフラが、宇宙分野における次世代の顧客にどのような可能性をもたらすかについて議論します。

航空宇宙カンファレンス

― ビジネスリーダーズフォーラム 2026



日時：12 月 2 日（水）14:00～20:00

主催：在日フランス商工会議所

会場：その他日本橋エリア

参加費：在日フランス商工会議所会員 12,000 円

非会員 16,000 円

日仏で切り拓く、航空宇宙の未来

■宇宙産業へのファーストステップ

宇宙を使う、最初の一歩



日時：12 月 1 日（火）

主催：株式会社アークエッジ・スペース

会場：X-NIHONBASHI TOWER

参加費：無料

宇宙に興味はある。でも、何から始めればいい？
具体的な事例とデモから、宇宙活用の第一歩を紹介します。

SPACE NIGHT

～ いつもの仕事と、宇宙が出会う夜 ～



日時：12 月 3 日（木）16:00～20:00 開場 15:45

主催：株式会社 Fusic

会場：X-NIHONBASHI TOWER

参加費：無料

宇宙ビジネスを加速する、共創のエコシステム。
新たな出会いから、次の挑戦と可能性を生み出します。

NIHONBASHI SPACE WEEK 2026 開催概要

日　　程：2026 年 12 月 1 日（火）～12 月 4 日（金）
会　　場：日本橋三井ホール
　　室町三井ホール＆カンファレンス
　　X-NIHONBASHI TOWER
　　X-NIHONBASHI BASE ほか
　　（最寄り：東京メトロ銀座線・半蔵門線　三越前駅）
主　　催：一般社団法人クロスユー
共　　催：三井不動産株式会社
後　　援：内閣府宇宙開発戦略推進事務局、総務省、外務省、
　　文部科学省、経済産業省、
　　国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、
　　国立高等専門学校機構
公 式 サイト：https://www.crossu.org/spaceweek/

＜会場位置図＞　日本橋エリア各所で開催



■三井不動産の宇宙関連の産業創造の取り組みについて

三井不動産は 1990 年代後半より、官民・地域が一体となった「日本橋再生計画」を推進し、街づくりを通じた「新産業創造」に取り組んでいます。グループ長期経営方針「& INNOVATION 2030」では「産業デベロッパー」への進化を掲げ、ライフサイエンス、宇宙、半導体などの分野で産業創造を推進しています。宇宙分野では 2019 年から取り組みを進め、宇宙ビジネス拠点を整備・拡張。コアテナントとして JAXA が入居し「宇宙戦略基金」に係る業務を実施するほか、欧州宇宙機関（ESA）のアジア初となる活動拠点も開設されています。また、クロスユーとの連携を通じ、国内外の多様なプレイヤーの共創を促進しています。

■一般社団法人クロスユーとは

https://www.crossu.org/

三井不動産と宇宙関連の有志が中心となり2023 年に設立した、宇宙関連産業領域の活性化を目的とした宇宙ビジネス共創プラットフォーム。三井不動産がこれまで培ってきた「場」の提供と「機会」の創出によるビジネスマッチングのノウハウに加えて、産官学によるサポート体制を提供することで、多様な業界のプレイヤーの組織を超えた「繋がり、結びつき、発展」を促し、日本橋から世界の宇宙産業を活性化させるとともに、地球上の課題解決に応用していくことで持続可能な社会の実現を目指します。

cross U

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】
・「グループ長期経営方針」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/